

株式会社柿の葉すし本舗たなか



企業プロフィール

設立：1973年

本社所在地：奈良県五條市

事業内容：柿の葉すし・その他すしの製造・卸・販売

従業員数：222名（うち女性207名）

～特徴的な取り組み～

地域の伝統的な食べ物である柿の葉寿司の製造という事業特性から、当社の従業員は8割以上を女性が占めており、女性が大きな役割を担っています。従業員のワーク・ライフ・バランスを考えた労働環境を整えることが生産性の向上にも重要であると考え、柔軟な働き方ができるような各種制度を整備しています。



取り組みのきっかけ

1992年に、それまで手作りしていた寿司の製造を機械化することとなり、会社組織の再編・拡大に合わせて就業規則等の大幅な見直しを行いました。当時から女性従業員が多数従事していたため、従業員が家庭と仕事を両立しやすいような労働環境を整備することが重要と考え、就業規則等の見直しを機に、両立支援のための制度を検討しました。そして、特に育児中の女性従業員が育児と仕事とを両立しやすい環境が必要であると考え、残業のない職場風土を定着させるとともに、当時の法定を上回る短時間勤務制度や所定外労働の免除制度等を導入しました。

取り組み内容

● 取り組み内容① 残業のない職場でワーク・ライフ・バランスを支援

会社全体として、仕事は所定労働時間内に集中して効率よく働き、終業時間になったらさっと帰る、という風土が定着しています。このため、周囲を気遣って不要な残業をすることはなく、メリハリをつけた働き方ができる職場となっています。残業なく毎日定時で帰れるということは、仕事と家庭を両立させている従業員にとっては特に重要なことであると考え、業務繁忙期等にもできる限り人員を確保し、個人の負担が大きくなり過ぎないように配慮しています。

● 取り組み内容② 出産・育児を行う従業員へのサポート

産休・育児休業取得後の従業員がスムーズに職場に復帰できるように、休業期間中には会社の情報を定期的に送っているほか、育児、保育に関する情報も提供しています。また、定期的に面談の機会を設けることで、従業員も不安を抱えることなく職場復帰ができています。これまでに6人の従業員が延べ13回の産休・育児休業を取得しています。職場の理解も進んでいるため、複数回の取得もしやすい環境となっています。

● 取り組み内容③ 振替休日制度により家族の行事等にも柔軟に対応

当社は、会社自体は365日稼働であり、従業員は完全週休2日制となっています。いつ休日を取得するかは部門内で調整するようになっており、必要に応じて振替も可能です。これにより、学校行事や家族の予定等に合わせて柔軟に休日を振り替えて取得することができるため、ワーク・ライフ・バランスが取りやすい環境となっています。

取り組みによる効果



● 取り組みによる効果① 優秀な人材の定着

両立支援のための各種制度の導入以降、出産・育児を理由に退職する従業員がいなくなり、優秀な人材が継続して勤務するようになりました。貴重な人材を放出することなく、引き続き戦力とできるようになったことが最大の効果だと考えられます。

● 取り組みによる効果② 効率的に仕事を進める雰囲気醸成

産休・育児休業を経て復帰した従業員は「この会社で勤め上げる」という覚悟とエネルギーを持って職場に戻ってきます。そして限られた時間の中でパフォーマンス良く働いて、成果を上げ、活躍しています。このポジティブな働き方が職場全体の雰囲気も活性化させ、職場全体が効率よく前向きに働き、休みもしっかり取得するよう変わってきました。勤務時間中はしっかり楽しく働き、所定労働時間が終了したら残業せずに帰り、ワーク・ライフ・バランスをしっかり保つ姿勢は、他の従業員の見本となっています。



奈良の伝統的な郷土料理 柿の葉すし

今後取り組みたいこと

男性従業員による育児休業取得実績がないため、今後は男性従業員による育児休業の取得も促進することとしています。また、繁忙期などには、人手不足のために残業をせざるを得ない状況になるのですが、今後はその解決策を検討し、より働きやすい職場環境の整備に努めることとしています。

介護のための離職を防ぐための方策も検討する必要があると考えています。今後、介護を担う従業員が増加することが見込まれますが、現在の制度ではカバーしきれない部分もあるため、制度の拡充も含め、検討することとしています。

